

注3

大学番号：国037

[平成23年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

富山大学大学院人文科学研究科  
人文科学専攻（修士課程）

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 富山大学  
平成23年5月1日現在

作成担当者

総務部企画評価グループ

グループ長 イリヤマ ヒロキ  
秋山 広樹

電話番号 076-445-6522

（夜間） 076-445-6522

F A X 076-445-6244

e-mail sokikaku@adm.u-toyama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、

その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	既設大学等の状況	10
4	教員組織の状況	12
5	その他全般的事項	13

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 富山大学

## (2) 大学名

富山大学

## (3) 大学の位置

〒930-8555  
富山県富山市五福3190番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
人文科学研究科 人文科学専攻(修士課程)  修士(文学)	年 2	人 8	人 16	基礎となる学部名等  人文学部人文学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員		8人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.00	
志願者数		19 ( ) [ 9 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数		18 ( ) [ 9 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数		9 ( ) [ 2 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数		8 ( ) [ 2 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A		1.00					

- (注) ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成24年度		備 考
	平成23年度	平成24年度	春入学	秋入学	
1年次	[ 2 ] 8	[ - ] -	[ ]	[ ]	
2年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
計	[ 2 ] 8	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
(主な退学理由)			
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
(主な退学理由)			
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・ 就学意欲の低下    ・ 学力不足    ・ 他の教育機関への入学・転学    ・ 海外留学
  - ・ 就職    ・ 学生個人の心身に関する事情    ・ 家庭の事情    ・ 除籍    ・ その他

## 2 授業科目の概要

<人文科学研究科 人文科学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	[思想・歴史文化領域]													
	哲学特論(1)	未開講 1前		2			1 2					兼1	履修希望者がいなかったため(23)	
	哲学特論(2)	1後		2			1 2					兼1		
	哲学特論演習(1)	未開講 1前		2			1 2					兼1		履修希望者がいなかったため(23)
	哲学特論演習(2)	1後		2			1 2					兼1		
	哲学特論演習(3)	2前		2			1 2					兼1		
	哲学特論演習(4)	2後		2			1 2					兼1		
	人間学特論(1)	未開講 1前		2			2	1					履修希望者がいなかったため(23)	
	人間学特論(2)	1後		2			2	1						
	人間学特論演習(1)	未開講 1前		2			2	1					履修希望者がいなかったため(23)	
	人間学特論演習(2)	1後		2			2	1						
	人間学特論演習(3)	2前		2			2	1						
	人間学特論演習(4)	2後		2			2	1						
	日本史学特論(1)	未開講 1前		2			1	1					履修希望者がいなかったため(23)	
	日本史学特論(2)	1後		2			1	1						
	日本史学特論演習(1)	未開講 1前		2			1	1					履修希望者がいなかったため(23)	
	日本史学特論演習(2)	1後		2			1	1						
	日本史学特論演習(3)	2前		2			1	1						
	日本史学特論演習(4)	2後		2			1	1						
	東洋史学特論(1)	1前		2			2	1						
	東洋史学特論(2)	1後		2			2	1						
	東洋史学特論演習(1)	1前		2			2	1						
	東洋史学特論演習(2)	1後		2			2	1						
	東洋史学特論演習(3)	2前		2			2	1						
	東洋史学特論演習(4)	2後		2			2	1						
	西洋史学特論(1)	1前		2				1						
	西洋史学特論(2)	1後		2				1						
	西洋史学特論演習(1)	1前		2				1						
	西洋史学特論演習(2)	1後		2				1						
	西洋史学特論演習(3)	2前		2				1						
	西洋史学特論演習(4)	2後		2				1						
	考古学特論(1)	未開講 1前		2			1	1					履修希望者がいなかったため(23)	
	考古学特論(2)	1後		2			1	1						
	考古学特論演習(1)	未開講 1前		2			1	1					履修希望者がいなかったため(23)	
	考古学特論演習(2)	1後		2			1	1					教育体制充実のため教員追加に伴う教員配置の変更(23)	
	考古学特論演習(3)	2前		2			1	1						
	考古学特論演習(4)	2後		2			1	1						
	国際文化特論(1)	1前		2			4	3						
	国際文化特論(2)	1後		2			4	3						
	国際文化特論演習(1)	1前		2			4	3						
	国際文化特論演習(2)	1後		2			4	3						
	国際文化特論演習(3)	2前		2			4	3						
	国際文化特論演習(4)	2後		2			4	3						
	[行動・社会文化領域]													

専門 研究 科目	言語学特論 (1)	未開講 1前	2	4	1	履修希望者がいなかったため(23)		
	言語学特論 (2)	1後	2	4	1			
	言語学特論演習 (1)	未開講 1前	2	4	1			
	言語学特論演習 (2)	1後	2	4	1			
	言語学特論演習 (3)	2前	2	4	1			
	言語学特論演習 (4)	2後	2	4	1			
	心理学特論 (1)	未開講 1前	2		2		履修希望者がいなかったため(23)	
	心理学特論 (2)	1後	2		2			
	心理学特論演習 (1)	未開講 1前	2		2		履修希望者がいなかったため(23)	
	心理学特論演習 (2)	1後	2		2			
	心理学特論演習 (3)	2前	2		2			
	心理学特論演習 (4)	2後	2		2			
	社会学特論 (1)	1前	2	1	1			
	社会学特論 (2)	1後	2	1	1			
	社会学特論演習 (1)	未開講 1前	2	1	1		履修希望者がいなかったため(23)	
	社会学特論演習 (2)	1後	2	1	1			
	社会学特論演習 (3)	2前	2	1	1			
	社会学特論演習 (4)	2後	2	1	1			
	国際関係特論 (1)	未開講 1前	2	1	1		履修希望者がいなかったため(23)	
	国際関係特論 (2)	1後	2	1	1			
	国際関係特論演習 (1)	未開講 1前	2	1	1		履修希望者がいなかったため(23)	
	国際関係特論演習 (2)	1後	2	1	1			
	国際関係特論演習 (3)	2前	2	1	1			
	国際関係特論演習 (4)	2後	2	1	1			
	人文地理学特論 (1)	1前	2		2			
	人文地理学特論 (2)	1後	2		2			
	人文地理学特論演習 (1)	1前	2		2			
	人文地理学特論演習 (2)	1後	2		2			
	人文地理学特論演習 (3)	2前	2		2			
	人文地理学特論演習 (4)	2後	2		2			
	文化人類学特論 (1)	未開講 1前	2		2 +		履修希望者がいなかったため(23)	
	文化人類学特論 (2)	1後	2		2 +			
	文化人類学特論演習 (1)	未開講 1前	2		2 +			履修希望者がいなかったため(23)
	文化人類学特論演習 (2)	1後	2		2 +			
	文化人類学特論演習 (3)	2前	2		2 +		教育体制充実のため教員追加に伴う教員配置の変更(23)	
	文化人類学特論演習 (4)	2後	2		2 +			
	〔言語文化領域〕							
	比較文学特論 (1)	1前	2		1		履修希望者がいなかったため(23)	
	比較文学特論 (2)	1後	2		1			
	比較文学特論演習 (1)	未開講 1前	2		1			
比較文学特論演習 (2)	1後	2		1				
比較文学特論演習 (3)	2前	2		1				
比較文学特論演習 (4)	2後	2		1				
日本語学特論 (1)	1前	2	1	1				
日本語学特論 (2)	1後	2	1	1				
日本語学特論演習 (1)	1前	2	1	1				
日本語学特論演習 (2)	1後	2	1	1				
日本語学特論演習 (3)	2前	2	1	1				
日本語学特論演習 (4)	2後	2	1	1				
日本文学特論 (1)	1前	2	1 2	1	兼1			
日本文学特論 (2)	1後	2	1 2	1	兼1			



日本文学特論演習 (1)	1前	2	1	1	兼1	担当教員の退職に伴う 教員配置の変更(23)
日本文学特論演習 (2)	1後	2	1	1	兼1	
日本文学特論演習 (3)	2前	2	1	1	兼1	
日本文学特論演習 (4)	2後	2	1	1	兼1	
朝鮮言語文化特論 (1)	1前	2	1	1		履修希望者がいなかった ため(23)
朝鮮言語文化特論 (2)	1後	2	1	1		
朝鮮言語文化特論演習 (1)	未開講 1前	2	1	1		
朝鮮言語文化特論演習 (2)	1後	2	1	1		
朝鮮言語文化特論演習 (3)	2前	2	1	1		
朝鮮言語文化特論演習 (4)	2後	2	1	1		
中国語学特論 (1)	1前	2	1			
中国語学特論 (2)	1後	2	1			
中国語学特論演習 (1)	1前	2	1			
中国語学特論演習 (2)	1後	2	1			
中国語学特論演習 (3)	2前	2	1			
中国語学特論演習 (4)	2後	2	1			
中国文学特論 (1)	1前	2	1	2		
中国文学特論 (2)	1後	2	1	2		
中国文学特論演習 (1)	1前	2	1	2		
中国文学特論演習 (2)	1後	2	1	2		
中国文学特論演習 (3)	2前	2	1	2		
中国文学特論演習 (4)	2後	2	1	2		
英語学特論 (1)	未開講 1前	2	2			履修希望者がいなかった ため(23)
英語学特論 (2)	1後	2	2			
英語学特論演習 (1)	未開講 1前	2	2			履修希望者がいなかった ため(23)
英語学特論演習 (2)	1後	2	2			
英語学特論演習 (3)	2前	2	2			
英語学特論演習 (4)	2後	2	2			
イギリス言語文化特論 (1)	未開講 1前	2	2	1		履修希望者がいなかった ため(23)
イギリス言語文化特論 (2)	1後	2	2	1		
イギリス言語文化特論演習 (1)	未開講 1前	2	2	1		履修希望者がいなかった ため(23)
イギリス言語文化特論演習 (2)	1後	2	2	1		
イギリス言語文化特論演習 (3)	2前	2	2	1		
イギリス言語文化特論演習 (4)	2後	2	2	1		
アメリカ言語文化特論 (1)	未開講 1前	2	3			履修希望者がいなかった ため(23)
アメリカ言語文化特論 (2)	1後	2	3			
アメリカ言語文化特論演習 (1)	未開講 1前	2	3			履修希望者がいなかった ため(23)
アメリカ言語文化特論演習 (2)	1後	2	3			
アメリカ言語文化特論演習 (3)	2前	2	3			
アメリカ言語文化特論演習 (4)	2後	2	3			
ドイツ語学特論 (1)	未開講 1前	2		2		履修希望者がいなかった ため(23)
ドイツ語学特論 (2)	1後	2		2		
ドイツ語学特論演習 (1)	未開講 1前	2		2		履修希望者がいなかった ため(23)
ドイツ語学特論演習 (2)	1後	2		2		
ドイツ語学特論演習 (3)	2前	2		2		
ドイツ語学特論演習 (4)	2後	2		2		
ドイツ文学特論 (1)	未開講 1前	2	1			履修希望者がいなかった ため(23)
ドイツ文学特論 (2)	1後	2	1			
ドイツ文学特論演習 (1)	未開講 1前	2	1			履修希望者がいなかった ため(23)
ドイツ文学特論演習 (2)	1後	2	1			
ドイツ文学特論演習 (3)	2前	2	1			
ドイツ文学特論演習 (4)	2後	2	1			
フランス言語文化特論 (1)	1前	2	1	1		

	フランス言語文化特論 (2)	1後	2		1	1							
	フランス言語文化特論演習 (1)	1前	2		1	1							
	フランス言語文化特論演習 (2)	1後	2		1	1							
	フランス言語文化特論演習 (3)	2前	2		1	1							
	フランス言語文化特論演習 (4)	2後	2		1	1							
	ロシア言語文化特論 (1)	未開講 1前	2		1	1						履修希望者がいなかったため(23)	
	ロシア言語文化特論 (2)	1後	2		1	1							
	ロシア言語文化特論演習 (1)	未開講 1前	2		1	1						履修希望者がいなかったため(23)	
	ロシア言語文化特論演習 (2)	1後	2		1	1							
	ロシア言語文化特論演習 (3)	2前	2		1	1							
	ロシア言語文化特論演習 (4)	2後	2		1	1							
特別 研究	課題研究 I	1前	2		28 29	15 13						教育体制充実のため教員追加及び担当教員の退職に伴う教員配置の変更、後任公募中(23)	
	課題研究 II	1後	2		28 29	15 13							
	課題研究 III	2前	2		28 29	15 13							
	課題研究 IV	2後	2		28 29	15 13							

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て (兼任、兼担教員が担当する科目を含む。) を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時 (平成 22 年度に認可された大学等は設置認可時) より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
4	156	0	160	4	156	0	160	
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年度に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する (資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。) とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1 科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	富山大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
人文学部	4		3年次		学士		昭和52	富山市五福3190番地		
人文学科		185	7	754		1.03				
計		185	7	754		1.03				
人間発達科学部	4				学士		平成17	〃		
発達教育学科		80		320		1.02				
人間環境システム学科		90		360		1.01				
計		170		680		1.02				
経済学部	4		3年次		学士		昭和28	〃		
(昼間主コース)						1.04				
経済学科		155	} 10	620		1.05				
経営学科		135		540		1.04	昭和49			
経営法学科		115		460		1.03	昭和54			
(夜間主コース)						1.17				
経済学科		20		80		1.17				
経営学科		20		80		1.23				
経営法学科		20		80		1.12				
計		405	10	1,640						編入学者数は、昼間主コース計に含める
理学部	4		3年次		学士		昭和50	〃		
数学科		50	} 4	200		1.05				
物理学科		40		160		1.06				
化学科		35		140		1.03				
生物学科		35		140		1.05				
地球科学科		40		160		1.00				
生物圏環境科学科		30	120		1.10	平成5				
計		230	4	928		1.05				編入学者数は、学部計に含める
医学部					学士		昭和50	富山市杉谷2630番地		
医学科	6	105	2年次5	605		1.00				平成22年度に入学生定員を医学科100→105、看護学科60→80に変更
看護学科	4	80	3年次10	300		0.99	平成5			医学科入学生定員のうち、5人は「緊急医師確保対策」に基づき、平成29年度までの措置。
計		185	15	905						

薬学部					学士	昭和51			
薬学科	6	55		330		1.03	平成18		
創薬科学科	4	50		200		1.06	平成18		
計		105		530					
工学部	4		3年次		学士	昭和24	富山市五福3190番地		
電気電子システム工学科		88	}	352		1.04	平成9		
知能情報工学科		72		288		1.05	平成9		
機械知能システム工学科		90		20	360		1.11	平成9	
生命工学科		52		208		1.02	平成20		
環境応用化学科		52		208		1.04	平成20		
材料機能工学科		51		204		1.01	平成20		
計		405	20	1,660		1.05		編入学生数は、学部計に含める	
芸術文化学部	4				学士	平成17	高岡市二上町180番地		
芸術文化学科		115		460		1.04			
計		115		460		1.04			

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」欄には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<人文科学研究科 人文科学専攻（修士課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
42	18	60	0	43	17	60	0	
( 43 )	( 17 )	( 60 )	( 0 )	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
(記入例：1名減の場合：Δ1)

## 5 その他全般的事項

<人文科学研究科 人文科学専攻（修士課程）>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表予定時期 ( 平成23年 7月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.u-toyama.ac.jp/jp/public/info/setti/index.html>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。